

富山高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	日本語
科目基礎情報					
科目番号	0001	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械システム工学科	対象学年	3		
開設期	通年	週時間数	4		
教科書/教材	【教科書】講師作成のハンドアウト / 【関連図書】『大学・大学院留学生の日本語』『小論文への12のステップ』				
担当教員	田上 栄子				
到達目標					
①アカデミックな文章を書くための表現・文法・語彙が使えるようになる。 ②文章の全体構成が把握できる。 ③学修した読解の技術を使って、様々なタイプの文章が読めるようになる。 ④主張したいことを論理的に構成し、展開していくことができる。 ⑤自分なりの意見を持ち、ピア活動を通じてその意見を深めていける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1					
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	学習目標（授業のねらい） ・論理的な文章を書くための、表現・文法・論理的な構成などの基本的な事項を学ぶ。 ・毎回、学習した内容を使った文章を書いていくことで、段階を追って、論文やレポートを書く力を身につける。 ・論理的な文章の構造を把握することで、様々なタイプの文章を読み解く力を養う。 ・文章・映像を通して得た情報をもとに、自己の意見をまとめ、それを他者に向けて発信していくことができる。				
授業の進め方・方法	講義20%、演習80%				
注意点	授業計画は、学生の理解度に応じて変更する場合がある。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	プレースメントテスト インタビュー オリエンテーション ノートをとる	メモの取り方、箇条書きの仕方	
		2週	作文の基礎	書き言葉 首尾一貫した文	
		3週	作文の基礎 段落の構造	「は」と「が」 受身使役と自他動詞 中心文と支持文	
		4週	テーマについて述べる	助詞相当句 研究のテーマとその重要性を述べる	
		5週	理由・経過の説明	助詞相当句 理由の表現	
		6週	要約をする	中心文を読み取る、1段落の要約から複段落の要約へ	
		7週	定義する・分類する	「こと」と「の」	
		8週	判明していることを述べる 比較対象	助詞相当句	
	2ndQ	9週	問題点を述べる 引用する	間接疑問・剽窃・文末表現：引用の仕方 意見と事実	
		10週	解決策を述べる 手順を述べる	接続表現	
		11週	指示詞を使う	文脈指示	
		12週	読解：構造を読み取る	内容の階層構造（分類・列挙）	
		13週	読解：構造を読み取る	内容の階層構造（対比）	
		14週	読解：構造を読み取る	内容の階層構造（原因・結果・理由・根拠）	
		15週	前期末試験		
		16週	フィードバック		
後期	3rdQ	1週	読解：構造を読み取る	文章のマーカーに着目して、構造を読み取る	
		2週	読解：構造を読み取る	文章のマーカーに着目して、構造を読み取る	
		3週	読解：構造を読み取る	新聞記事の構造	
		4週	ブックレポート	新聞記事を読み、内容をまとめる	
		5週	ブックレポート	新聞記事を読み報告のためのレジюмеを作成する	
		6週	ブックレポート	発表と批評	
		7週	情報提供のスピーチ	スピーチの構想	
		8週	情報提供のスピーチ	アウトラインと発表資料の作成	
	4thQ	9週	情報提供のスピーチ	アブトラインと発表資料の作成 発表と批評	
		10週	映像の読解	テレビ番組の構成	
		11週	映像の読解	テレビ番組の構成	
		12週	トピック：科学技術	映像と文章の読解	
		13週	トピック：科学技術	映像と文章の読解	
		14週	トピック：特許はだれのもの	映像と文章の読解	
		15週	学年末試験		
		16週	試験のフィードバック		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	10	40	0	100
基礎的能力	50	0	0	10	40	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0